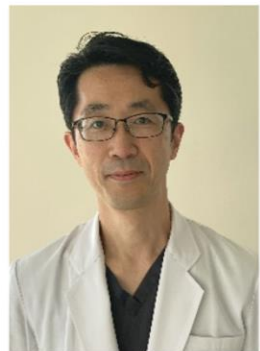


巻頭言 一着任のご挨拶一



＜脳神経外科＞
和田 晃 准教授

2024年10月1日より、脳神経外科の診療責任者として着任いたしました和田 晃（わだ あきら）と申します。私は横浜市旭区出身で、1996年に昭和大学脳神経外科に入局して以来、旗の台の昭和大学病院をはじめ関連病院で経験を培ってまいりました。2007年からは旭川赤十字病院で上山博康（かみやま ひろやす）先生のもと2年間、脳血管外科を学び、2015年には藤が丘病院で寺田友昭（てらだ ともあき）教授から脳血管内治療を学びました。その後、2017年に東京保健医療公社荏原病院（現 東京都立荏原病院）、2020年に江東豊洲病院勤務を経て、7年半ぶりに再び横浜に戻ってまいりました。これまでお世話になった著名な先生方の教えを胸に、地域医療に貢献できるよう、決意を新たに日々の診療に取り組んでおります。

また、コロナ禍をきっかけに、生活に潜む健康を損なう要因、いわゆる「社会毒」に気づき、自然免疫を高める食事や生活習慣に関心を持つようになりました。10数年前から小さな家庭菜園で農薬を使わずに野菜を育ててきましたが、2年前からは化学肥料を使用しない自然農法に切り替え、寒暖差や病害虫に苦労しつつも、微生物の力で育った新鮮な野菜の美味しさに感動しながら、細々と続けています。このような話にご興味がある患者さんには、微力ながら情報を提供できればと思います。

話が逸れてしまいましたが、脳の病気の治療には、手術以外にもさまざまな方法があり、可能であれば体にメスを入れずに治療することが理想です。しかし、手術もまた、あらゆる知識や技術を駆使して磨き続ける価値のある行為だと考えております。常に恐れと謙虚さを持ちながらも、必要ときには積極的に手術に向き合っていきたいと思います。横浜市北部地域の中核病院として、皆様が安心して医療を受けられるよう精進してまいります。今後ともご指導ご鞭撻（べんたつ）のほど、よろしくお願い申し上げます。



植え付け後1か月のレタス
今年はうまく結球するか？

P1【巻頭言】着任のご挨拶

P2～P3【医学講座コーナー】冬のケガ（こどものやけど）

【お知らせ】年末年始の外来診療について

P4【患者さんからのご意見・ご要望】【編集後記】

【医学講座コーナー】冬のけが(子供のやけど)

<外科(形成外科) 講師 村上尚来>

子どものやけど予防

1歳前後の子どもは、テーブルの上の熱いものに手を伸ばしてやけどをすることがあります。また、電気ケトルなどの家電製品からもやけどをする危険性があります。この記事では、子どものやけどの予防策と応急処置について解説します。

1歳児の身長と身の回りの危険

1歳前後の子どもの身長は70-80cm程度ですが、これは一般的なダイニングテーブルやコンロのグリル窓と同じぐらいの高さです。

テーブルの端においたものに手をのばしたり、テーブルクロスを引っ張ることで、テーブルの上のお茶・味噌汁・カップ麺などの熱い飲み物や汁物をあびてやけどをします。

また、電気ケトルなどの電源コードを引っ張って倒したり、加湿器・炊飯器からでる蒸気に触れたり、調理中や調理後のグリル窓やコンロ上のフライパンなどの調理器具に直接触れたりしてやけどをすることもあります。

すぐに対応が必要な状況

1 範囲

お子さんの手のひらより広い場合。

2 部位

顔、手足の関節部分、外陰部¹のやけど。

3 状態

白くなったり、黒くなっている場合。



1 肛門周囲のことを指す



【医学講座コーナー】冬のけが(子供のやけど)

やけどの応急処置

1

ステップ1：流水で冷やす

やけどをしたら、すぐに流水で冷やしましょう。20分間は冷やしてください。

氷水はおすすめしません。

2

ステップ2：範囲が広い場合は注意

顔や頭、指の関節をやけどした場合、またはやけどの範囲が広い場合は、冷やしている間に体温が下がりすぎないように注意し、20分間冷やした後、すぐに医療機関を受診して下さい。

3

ステップ3：医療機関への相談

医療機関が遠い場合などは、救急車の利用を考えて下さい。

やけどをしないための 注意点：飲み物

子どもはテーブルの上のものに興味を示し、手を伸ばすことがあります。特に、熱い飲み物が入ったカップやポットは大変危険です。テーブルクロスを使っていると、子どもが誤って引っ張ってしまい、熱い飲み物を浴びてしまう可能性があります。飲み物は子どもの手の届かない場所に置き、テーブルクロスは使用しないように徹底しましょう。



【お知らせ】年末年始の外来診療について

年末年始の下記の期間は、外来診療を休止いたします。

外来診療休止期間：令和6年12月29日（日）～ 令和7年1月3日（金）

上記期間は外来診療の電話予約（予約センター）も休止いたしますので、ご了承ください。1月4日（土）より通常の診療を行います。皆さまにはご迷惑をおかけしますが、何卒ご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

診療体制については休日対応となるため、救急センター（ER）外来での診療となります。受診時は時間外加算および時間外選定療養費（8,800円）の費用が発生いたします。

※紹介状持参・当院かかりつけであらかじめ来院指定の患者さんは時間外選定療養費の徴収はありません。

患者さんからのご意見・ご要望

ご意見・ご要望	回答・改善等
検査などで長時間、家族の付き添いをする機会がしばしばあるのですが、背もたれのないソファですと腰痛が悪化します。 座面の奥行きが広いので、壁にもたれられません。長時間待機の発生する場所には、背もたれのある椅子やソファを置いていただくと助かります。 130番(放射線科受付)の付近です。	この度は、貴重なご意見をいただきありがとうございます。当院は「災害拠点病院」として、災害時にソファをベッドとして利用することを想定し、平らで背もたれのない長ソファを全体の3分の1程度採用しております。今後の設備計画において、背もたれがありかつ、平らにできるソファの導入を検討しており、準備が整いしだい、古いものから入れ替えていく予定です。入れ替えまでお時間をいただきますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。 なお、背もたれのあるソファへのご案内も可能ですので、ご遠慮なくスタッフにお声かけください。 (回答部署：放射線技術部)
一部の病院では、外来受診時のマスク着用を任意としているところもあるようですが、この感染状況下において、マスクは受診の安心につながっていますので、今後も消毒とともに継続してほしいです。	日頃より、マスク着用と手指消毒にご協力いただき感謝申し上げます。 当院では、院内感染防止の観点から、現在も、院内でのマスク着用と手指消毒をお願いしております。 引き続き、ご協力いただけますようよろしくお願いいたします。この度は貴重なご意見ありがとうございました。 (回答部署：感染管理室)

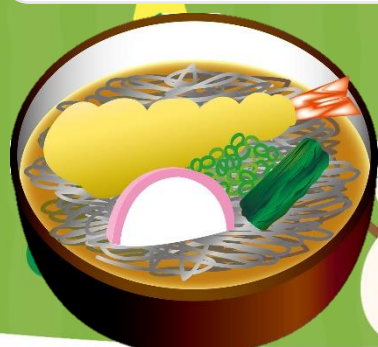
編集後記

2024年もういよいよ年末を迎え、あっという間に過ぎ去った1年を振り返る時期となりました。今年も「病院だより」をお読みいただき、誠にありがとうございました。この1年、当院では新型コロナウイルスの影響が少しずつ和らぎ、通常の診療体制に戻る中で多くのイベントを開催することができました。

これらの活動を通じて、地域の方々と一緒に健康を考える場が増えたことは大きな収穫です。また、今年はパリオリンピックでの日本選手団の活躍に、多くの方が感動されたのではないのでしょうか。

特に医療の現場でも、日々の診療やケアにおいて「最後まであきらめない姿勢」が大切であることを再確認しました。私たちも、その思いを胸に、来年も引き続き、地域の皆さまの健康を支えてまいります。寒さが厳しくなりますが、どうぞお体に気をつけて、良いお年をお迎えください。

呼吸器外科 助教 高宮新之介



北部病院だより 第198号(2024年12月1日発行)

発行責任者 坂下 暁子(昭和大学横浜市北部病院長)

編集責任者 緒方 浩顕(広報委員会 委員長)

発行 昭和大学横浜市北部病院

〒224-8503 横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1

電話 045-949-7000(代表)

URL: <https://www.showa-u.ac.jp/SUT-Y/>

北部病院ホームページにて最新・過去の『病院だより』がご覧いただけます。